

参加団体・参加者	参加者発言内容	知事等発言内容	参加者の発言に対する県の考え方	担当課
<p>おぶせ彩時屋</p> <p>小西 和美様 他3名</p>	<p>○地域活性化や地域文化について</p> <p>1 地域の交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年是小布施の地図を作成したが、来年は地域の交流の場を作ろうと思っている。イメージとしてはコミュニティカフェみたいなもの考えている。</li> <li>・一定のルールが守られればみんな仲間になれるという緩やかでも、つながれる場を作りたい。</li> </ul> <p>2 映像の有効な利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は学校で映像関係を学んでいる。</li> <li>・トイゴをどうにかした方がいいと思っている。若手のクリエイターの映像を流すとか使い方によってはもっと良くなるのではないか。</li> </ul> <p>3 マップのデザイン等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今企画しているマップは大事に持ってしてもらえるようなデザインもの考えて作成している。</li> <li>・パンフにしても県が作ったのと思われるような、意表をつくようなものがいいのではないか。</li> </ul> <p>4 公共施設等の使用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小布施町立図書館のまちとしょテラソはカフェコーナーがあって、軽食がたべられる。人と会うなど交流するイメージがある場所で情報発信の場所でもある。</li> <li>・人が入りたくなるような建物の雰囲気は大事だと思う。</li> </ul>	<p>・タウンミーティングをいろんなところでやっているが公共施設ではなく、そういうところで開催したいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり堅苦しい場所だと、堅苦しい意見しか出てこない。</li> </ul> <p>・国内外の人が長野県に来ていただけるように、長野県の観光PRは映像が必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像とかデザイン関係の人たちと県とのコラボレーションができないか。</li> </ul> <p>・県のパンフを見た人が残しておきたいかなものを作れないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手のデザイナーとかクリエイターの皆さんに協力してもらえないかと思う。</li> <li>・県のイメージを統一したデザインとか出来ないか、公募することも必要かもしれない。</li> </ul> <p>・県庁の1階でカフェみたいなものはできないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁ロビー等を入りやすい、かたたくるしくない雰囲気のデザインにしたい。</li> <li>・県の施設の空間を、もっと若者とかが憩えるような場所とか若者の発表の場などとして提供することや、民間などに貸出して有効に使用してもらうことことを考えたい。</li> </ul>	<p>・タウンミーティング及びランチミーティングの開催場所については今後検討してまいります。</p> <p>・平成24年度に、コンテスト等を通じて、知られざる信州の魅力を発掘して宣伝素材DVDを作成する予定であり、商談会やイベント等で活用してまいります。</p> <p>・長野県では、県が発行する広報印刷物の魅力向上のため、広報印刷物を一括してデザイン事務所等に発注する「広報印刷物デザイン制作業務委託事業」を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託事業者は、外部の審査員によるプロポーザル審査を実施・決定しており、若手のデザイナーも数多く参加して県の広報印刷物デザインを行っていただいています。なお、この事業の対象とするパンフやポスターはあくまでも担当各課の希望に基づき、県の全ての印刷物ではありません。</li> <li>・24年度は、検討を開始する本県のブランドコンセプト構築の中で、より統一感が高く魅力的な情報発信ができないか検討してまいります。</li> </ul> <p>・県庁の2階には、誰でも利用できる喫茶室があるので、気軽に利用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁ロビー等のデザインは、専門家と相談し、工夫できるか検討してまいります。</li> </ul> <p>・現在、ファンリティマネジメント(県有財産の総合調整・総合活用)の考え方に基づき、県有施設の余裕スペースの調査を行っております。この調査結果を踏まえ、余裕スペースがある場合、民間などへの貸付制度の導入を検討してまいります。</p>	<p></p> <p>広報県民課</p> <p>観光振興課</p> <p>信州ブランド推進室</p> <p>財産活用課</p>